

《資料館便り》

平成 28 (2016) 年
10月号



石川町立歴史民俗資料館は、町の文化財保存と活用、町民の教育、学術及び文化の発展を目的に、昭和 49(1974)年秋に開館しました。公的施設としては、県下のさきがけの一つです。

○「資料館便り」編集：発行 石川町立歴史民俗資料館
〒963-7845 石川町字高田 200-2 0247 (26) 3768

石川のペグマタイト鉱物「県の石」選定記念講演会 ～県立博物館：竹谷陽二郎氏講演会～

「日本三大ペグマタイト鉱物産地」に数えられる石川町。そのペグマタイト鉱物が、本年5月に日本地質学会による「県の石」に選定されました。

これを記念し、10月2日、「県の石」選定にも重要な役割を果たされた竹谷陽二郎先生（福島県立博物館専門員）を招き、講演会を開催しました。講演では、石川のペグマタイト鉱物が選定された経緯、ペグマタイトの学術的な価値、さらに「県の石」の地域づくりへの活用について、スライドを用いて大変分かり易い説明がありました。会場の公民館ホールには、町内外から多数の方々が集まり、熱心に聴講していました。

竹谷先生の講演内容を参考に、今後ますます「石を活かした町づくり」を進めていきたいと思えます。



《ペグマタイト》 主に長石や石英の巨大な結晶からなる岩石を言います。その他にも、非常にめずらしい元素をもつ鉱物（希元素鉱物）等も含まれます。ペグマタイトは花崗岩（御影石）と同じ組成で、和名では「巨晶花崗岩」と言います。

「県の石」

今年5月、日本地質学会は地質への関心を高め、郷土の地質を愛する心を再確認することを目的に、各都道府県に「県の石」を選定しました。「県の石」は岩石・鉱物・化石の3部門からなり、福島県では岩石部門に阿武隈高地の片麻岩、化石部門にフタバズクリュー、そして鉱物部門には、石川のペグマタイト鉱物が選ばれました。



↑ 石川町役場新庁舎前のペグマタイト